

村道は、平成6年10月現在で、139路線あり、毎年計画的に舗装や改良などが行われています。

以上、村の主な出来事から「村の移り変わり」を書き表してきましたが、もっとくわしく調べたいことがある時は、「昭和の歴史」や村内にある「記念碑」などの史跡、教育委員会に展示してある土器や石器などを手がかりにするとよいでしょう。またその当時の村のようす、人びとの暮らしや出来事、子供たちの遊びなどについて、お年寄りの方から聞くことも大変よいことだと思います。

## 2. 村の自然

### 位置や面積

昭和村は、福島県の西部に位置し、東西、16.8キロメートル、南北、12.55キロメートル、総面積、209.34平方キロメートルの広さをもっています。平坦部は、標高400メートルから750メートルの高冷地で、10の集落から成りたっています。東は会津高田町、下郷町、北は柳津町、三島町、金山町、西は只見町、南郷村、南は田島町の7町1村と接しています。

### 山岳地帯

博士山(1,482m)、御前ヶ岳(1,234m)、志津倉山(1,209m)のほか白森山、三引山、三階山、俎倉山、鍵金山などの千メートル以上の山々があり、他の郡や他町村の境に接しています。山々に囲まれた盆地状の中に集落や田畑を形成しています。

村の92パーセントは、山林原野でしめられています。田畑の面積は3.4パーセントしかありません。